

希少植物の生息域外保全活動で栽培に取り組む植物

令和6年度の保全対象種は、フタバアオイ、ノハナショウブの2種です。

各種20名程度の定員となっています。定員を超えた場合は、抽選となりますので御了承ください。

*植物の株は、全て京都市及びその周辺の産地に由来するものです。

*栽培指導協力：一般社団法人葵プロジェクト、公益財団法人京都市都市緑化協会

フタバアオイ (ウマノスズクサ科 多年草)



1400年続く葵祭に欠かせない植物です。環境省・京都府のレッドデータブックに記載はありませんが、生息環境の変化で激減しています。ハート形の葉が特徴で、双葉の間に、小さな赤い花が下向きに目立たないように咲きます。一般財団法人葵プロジェクト(上賀茂神社内)などによって保全繁殖が図られています。日本固有種。

環境省レッドデータブック：記載なし

京都府レッドデータブック：記載なし

- ◆**育て方**：5月以降から初秋までは、木陰、軒下などの日陰に置きます。乾燥や強い日射を嫌います。明るい室内でも可能。
- ◆**花期**：3月～5月
- ◆**苗代**：3,960円
苗、鉢及び用土のセット代：5,500円

ノハナショウブ (アヤメ科 多年草)



古くから多数の品種が作出されてきたハナショウブに対する野生の原種としてノハナショウブと呼ばれます。花色(濃紫・淡紫・赤紫・白)などの変異が品種改良に利用されてきました。近縁のアヤメ、カキツバタと姿が似ていますが、花の模様や葉の脈などで区別できます。花期はアヤメ、カキツバタの少し後で、花が咲くと梅雨が真近です。

自生する湿原などが消失し、希少になっています。『源氏物語』などにも登場。

環境省レッドデータブック：記載なし

京都府レッドデータブック：準絶滅危惧種

- ◆**育て方**：日当たりが良く、湿気のある土を好みます。夏場は鉢皿などで水を切らさないようにします。2～3年に一度は植替えをします。
- ◆**花期**：5月～6月
- ◆**苗代**：2,640円
苗、鉢及び用土のセット代：3,520円